

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 ティーディーシーソフトウェアエンジニアリング株式会社

コード番号 4687 URL <http://www.tdc.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)谷上 俊二

問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)岩田 伸 (TEL)03(3350)8111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日~平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	11,834	1.7	361	35.6	390	39.7	184	23.2
23年3月期第3四半期	12,040	9.2	561	187.8	648	208.0	240	125.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	30 68	-
23年3月期第3四半期	39 78	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	8,446	5,795	68.6
23年3月期	10,522	5,847	55.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 5,795百万円 23年3月期 5,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	-	0 00	-	25 00	25 00
24年3月期	-	0 00	-		
24年3月期(予想)				25 00	25 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日~平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	1.3	700	10.4	700	19.6	370	1.8	61 60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	6,278,400株	23年3月期	6,278,400株
24年3月期3Q	295,760株	23年3月期	240,680株
24年3月期3Q	6,014,065株	23年3月期3Q	6,037,789株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2 . サマリー情報(その他)に関する事項	4
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3 . 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4 . 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における日本経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にありましたが、国内需要は被災した設備の修復に伴う設備投資や個人消費などは底堅く推移しております。ただし、海外経済の減速や円高などにより、その動きは弱いものであります。

日本経済の先行きは、各種の政策効果などによる景気浮揚効果への期待はあるものの、欧州の政府債務危機による海外景気の下振れ懸念などを背景に不透明な状況にあります。

情報サービス産業におきましても、景気の先行きに対する不透明感により、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は変わらず、情報サービス産業にとって厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと当社は、お客様のIT投資動向に機敏に対応し、受注の確保・拡大、製造工程の価格競争力強化、新たな市場・事業の獲得を重点施策として取り組んでまいりました。

当第3四半期累計期間の業績は、金融分野は堅調に推移しているものの、法人分野が低調に推移したことにより、売上高は11,834百万円(前年同期比1.7%減)となりました。利益面では、厳しい受注環境の影響から稼働率が改善しないことや、一部開発案件において不採算案件が発生したことなどにより売上総利益が減少し、営業利益は361百万円(前年同期比35.6%減)、経常利益は390百万円(前年同期比39.7%減)、四半期純利益は184百万円(前年同期比23.2%減)となりました。

業種分野別の売上高は次のとおりであります。

金融分野は、保険関連向けの新規システム開発案件が低調に推移しておりますが、新制度の創設に伴う銀行関連向けのシステム開発が増加したことなどにより、前年同期比3.1%増収の7,680百万円となりました。

法人分野は、電気機器関連向けのシステム開発案件が堅調に推移しておりますが、前期に運輸関連向けや通信関連向けの大型システム開発が終了したことや震災の影響により新規のシステム開発案件が低調に推移していることなどにより、前年同期比10.2%減収の3,132百万円となりました。

公共・公益分野は、官公庁・自治体関連向けのシステム開発案件は前年同期並みに推移しておりますが、エネルギー関連向けのシステム開発案件が低調に推移したことなどにより、前年同期比7.2%減収の1,022百万円となりました。

【業種分野別売上高】

(単位：百万円)

業種分野 / 期	前第3四半期累計期間		当第3四半期累計期間		前年同期比 増減率
	金額	構成比	金額	構成比	
金融	7,450	61.9%	7,680	64.9%	+3.1%
法人	3,489	29.0%	3,132	26.5%	10.2%
公共・公益	1,101	9.1%	1,022	8.6%	7.2%
合計	12,040	100.0%	11,834	100.0%	1.7%

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末と比べ 2,075百万円減少し、8,446百万円となりました。

流動資産は、有価証券、たな卸資産の増加などがありましたが、現金及び預金、売掛金の大幅な減少などがあり、前事業年度末と比べ 2,101百万円減少し、7,046百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の減少がありましたが、無形固定資産、繰延税金資産が増加したことなどにより、前事業年度末と比べ 26百万円増加し、1,400百万円となりました。

流動負債は、短期借入金、未払費用及び未払法人税等の減少などがあり、前事業年度末と比べ 2,024百万円減少し、2,596百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加がありましたが、自己株式、その他有価証券評価差額金の減少があり、前事業年度末と比べ 51百万円減少し、5,795百万円となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、平成23年5月10日に公表した通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて法人税等を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,199,426	2,888,018
売掛金	3,684,515	1,832,069
有価証券	-	600,420
たな卸資産	620,579	1,060,627
繰延税金資産	545,631	545,631
その他	98,320	120,081
貸倒引当金	123	119
流動資産合計	9,148,349	7,046,729
固定資産		
有形固定資産	68,933	61,790
無形固定資産	29,610	62,103
投資その他の資産		
投資有価証券	643,663	620,432
関係会社株式	37,280	37,280
繰延税金資産	16,726	42,278
差入保証金	563,432	563,514
その他	14,538	12,983
貸倒引当金	199	139
投資その他の資産合計	1,275,441	1,276,348
固定資産合計	1,373,985	1,400,241
資産合計	10,522,335	8,446,971
負債の部		
流動負債		
買掛金	717,698	536,172
短期借入金	2,047,000	950,000
未払金	161,504	116,162
未払費用	1,243,188	725,823
未払法人税等	253,265	9,555
役員賞与引当金	38,000	27,750
受注損失引当金	37,101	17,493
その他	123,362	213,974
流動負債合計	4,621,120	2,596,931
固定負債		
長期未払金	30,100	30,100
資産除去債務	23,701	24,014
固定負債合計	53,801	54,114
負債合計	4,674,922	2,651,045
純資産の部		
株主資本		
資本金	970,400	970,400
資本剰余金	831,739	831,739
利益剰余金	4,248,695	4,282,257
自己株式	204,275	248,332
株主資本合計	5,846,559	5,836,064
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	853	40,138
評価・換算差額等合計	853	40,138
純資産合計	5,847,412	5,795,925
負債純資産合計	10,522,335	8,446,971

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	12,040,992	11,834,270
売上原価	10,166,878	10,173,561
売上総利益	1,874,114	1,660,709
販売費及び一般管理費	1,312,545	1,299,333
営業利益	561,568	361,376
営業外収益		
受取利息	2,724	4,641
受取配当金	14,898	17,511
助成金収入	68,664	9,800
その他	7,742	5,449
営業外収益合計	94,029	37,402
営業外費用		
支払利息	7,483	7,921
その他	-	269
営業外費用合計	7,483	8,190
経常利益	648,114	390,588
特別利益		
貸倒引当金戻入額	30	-
特別利益合計	30	-
特別損失		
投資有価証券評価損	114,355	10,639
固定資産除却損	60	355
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	15,029	-
特別損失合計	129,445	10,995
税引前四半期純利益	518,699	379,592
法人税等	278,541	195,087
四半期純利益	240,158	184,504

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

当社は、「システム開発」のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

当社は、開発から運用・管理までの一貫したシステム開発サービス及びシステム製品の販売等を一体とするシステム開発事業を営んでおり、当社におけるセグメントは、「システム開発」のみの単一セグメントであります。

なお、当社においては、開発システム等の納期が、得意先の期末（多くは3月）に集中する傾向が顕著であります。このため、売上高等は第4四半期会計期間に偏重する傾向があります。

生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	10,173,561	+0.1
合計	10,173,561	+0.1

- (注) 1 金額は、製造原価によっております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	10,372,493	6.7	4,078,486	21.5
合計	10,372,493	6.7	4,078,486	21.5

- (注) 1 金額は、販売価格で記載しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
システム開発	11,834,270	1.7
合計	11,834,270	1.7

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。